

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●騎手3名が節目の勝利を達成

6月30日(土)の3回中京1日・第9レースとして行われた御在所特別ではルタンデュボヌールが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、史上7人目、現役では5人目となるJRA通算2100勝(1万6330戦目)を達成しました。同日の2回福島1日・第12レースではショームが1着となり、同馬に騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)は、現役41人目となるJRA通算400勝(7686戦目)を達成しました。翌7月1日(日)の1回函館6日・第7レースではライオンボスが1着となり、同馬に騎乗した北村友一騎手(栗東・フリー)は、現役30人目となるJRA通算600勝(7728戦目)を達成しました。

### ●岩田康誠騎手がJRA通算1万2000回騎乗を達成

7月1日(日)の1回函館6日・第10レースとして行われた檜山特別でワンパーセントに騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、史上25人目、現役では15人目となるJRA通算1万2000回騎乗を達成しました。

### ●藤沢和雄調教師がJRA通算1400勝を達成

6月30日(土)の2回福島1日・第9レースとして行われた郡山特別ではシンボリバークが1着となり、同馬を管理する藤沢和雄調教師(美浦)は、尾形藤吉元調教師に続き史上2人目となるJRA通算1400勝(延べ8089頭目)を達成しました。

### ●林徹調教師がJRA初勝利をあげる

7月1日(日)の1回函館6日・第9レースではクレッシェンドラヴが1着となり、同馬を管理する林徹調教師(美浦)は、JRA初勝利(延べ51頭目)をあげました。

### ●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2018年京都ハイジャンプ(J・GⅡ)の勝ち馬アスターサムソン(騾5歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算成績22戦4勝)、2017年キーンランドC(GⅢ)の勝ち馬エボウス(騾10歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算成績32戦7勝)、2014年七夕賞(GⅢ)などの勝ち馬メイショウナルト(騾10歳/栗東・本田優厩舎/JRA通算成績51戦7勝)は、7月4日(水)までに競走馬登録を抹消されました。アスターサムソンは福島県南相馬市の松浦ライディングセンター、エボウスは北海道浦河町のJRA日高育成牧場、メイショウナルトは岡山県吉備中央町の吉備高原サラブレッドレーニングで、いずれも乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●スパーキングレディーCでリエノテソーロが2歳時以来の勝利

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月5日、川崎、1600m)は、2番手から3コーナー過ぎに先頭に立った3番人気のリエノテソーロ(吉田隼人騎手、牝4歳、父スパイットタウン)が1番人気のオウケンビリーヴを半馬身退け、全日本2歳優駿以来の勝ち星を収めました。ラビットランが3着、2番人気のワンミリオンズが4着に入り、JRA所属馬が上位を独占しています。

### ●ハッピーグリーン(北海道)が巴賞で僅差の3着と健闘

巴賞(3歳以上オープン、7月1日、函館)に挑んだ3歳馬ハッピーグリーン(北海道)は、中国から外を通過して差を詰め、アタマ、クビ差の3着と善戦しました。

### ●ルヴァンスレーヴが登場、7月11日のジャパンダートダービー

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、7月11日、大井、2000m)は、ルヴァンスレーヴが最有力、以下ドンフォルティス、テオオーエナジー、グレートタイム、オメガパフューム、ハーベストムーン、ハセノパイロ(船橋)、バイラの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛ダービー～ジョセフ&ドナカのオブライエン兄弟が制す

6月30日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛ダービー(芝1200m)は、2番手追走から直線で逃げていたロストロボヴィチを交わしたラトロープ(牡3歳、父キャメロット)が半馬身差で優勝。前走、愛ダービーと同距離同コースの未勝利戦で初勝利をあげたばかりの伏兵(5番人気、単勝15倍)がG1初制覇をクラシックの大舞台で果たしました。管理するジョセフ・オブライエン調教師(25歳)、手綱を取った弟のドナカ・オブライエン騎手(19歳)はともに愛ダービー初制覇となりました(ただしジョセフは騎手時代にラトロープの父キャメロットとオーストラリアで計2勝)。なお、ディープインパクト産駒の日本産馬で、G1英2000ギニーを制したサクソンウォリアーは1番人気に推されましたが、3番手追走から直線で伸び切れず3着に終わりました。

### ●G1サンクルー大賞～ヴァルトガイストが2つ目のG1勝ち

G1サンクルー大賞(芝2400m)が7月1日にフランスのサンクルー競馬場で行われ、地元フランスのヴァルトガイスト(牡4歳、父ガリレオ、A.ファーブル厩舎)が、イギリスから遠征したコロネットとの競り合いをハナ差で制して優勝。2歳時のG1クリテリウムドサンクルー以来、2つ目のG1制覇を果たしました。